

教育委員会だより

はじめに

小牧市は昨年、市制70周年を迎え、市民・団体・企業・小牧に関わるすべての人がつながり、郷土への愛着と誇りを深める機会となる記念事業が1年を通じて開催されました。なかでも、記念式典やこども議会では、こどもたちがまちづくりに主体的に関わる姿がとても頼もしく、小牧の明るい未来像を力強く示してくれました。

小牧市では、これからも未来を担うこどもたちの夢へのチャレンジを市全体で応援していきます。

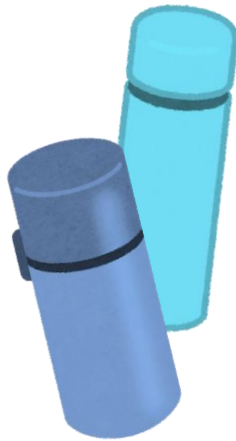


夏季の酷暑における児童生徒の学習活動の保障及び災害時の避難所としての観点から、建替えを予定している米野小学校を除く、すべての学校の体育館へLPガス災害対応型バルクを備えた空調設備の整備を行いました。今年度からは、夏季においても快適で安全な環境の中で、児童生徒が体育の授業や部活動に取り組めるようになります。

小中学校体育館に空調機(エアコン)を設置しました

全小中学校にマイボトル給水機を設置します

近年、猛暑日が増加し、熱中症のリスクが高まっているため、小中学校においても熱中症対策の充実が求められています。そこで、児童生徒の学校生活や下校時などの熱中症対策として、マイボトル(水筒など)に、衛生的で冷たい水を補給できるマイボトル給水機を、各学校に2台ずつ設置することとしました。



なお、令和8年度の夏(6月頃)からマイボトル給水機が利用できるよう、設置に向けた準備を行っていきます。

北海道八雲町との児童学習交流を実施しました

市内の小学6年生を対象に北海道八雲町との学習交流を行っています。この交流は、明治の初め、小牧に住む人々が故郷を離れ、北海道八雲町の地を開拓したことを記念して始まったもので、令和7年度で40回目を迎えました。

7月には小牧市の小学生24名が八雲町を、11月には八雲町の中学生7名が小牧市を訪問し、学習活動を通してお互いの故郷を学びながら、交流を深めました。

今年度も参加者の募集を行います。募集の詳細は市ホームページに掲載いたしますので、ぜひご応募ください。

篠岡地区学校再編計画を策定しました

小牧市教育委員会では、児童生徒数の減少および学校施設の老朽化が進む中、篠岡地区の将来を展望した学校のあり方について検討するため、児童生徒の保護者や学校関係者、地域住民などからなる「篠岡地区の学校を考える会」を立ち上げ、この度、「篠岡地区学校再編計画」を策定しました。計画では学校再編を2期に分け、第一期再編では令和9年度に現在の5小学校3中学校を、2小学校2中学校に再編し、再編後の新たな学校名を、「桃花台東小/桃花台東中」(光ヶ丘小/光ヶ丘中の校舎を活用)、「桃花台西小/桃花台西中」(桃ヶ丘小/桃陵中の校舎を活用)とすることとしております。

また、学校再編に当たり、通学距離が著しく遠距離である小学生に対し、スクールバスを導入することで、通学による心身の負担の軽減を図ります。本計画の詳しい内容は、市ホームページからご覧いただけます。

米野小学校を改築します

米野小学校は、校舎の老朽化や児童数の増加による教室の不足等の課題を抱えており、これらの課題を解消するため、令和4年度から保護者や地元住民の方々とともに、検討を重ねてきました。令和7年度より改築工事を行う予定でしたが、入札不調となったため、令和8年度に再度入札を行い、8月から改築工事を開始する予定です。

『小牧文化財散歩』こまき検定に出題された文化財の今を刊行しました

小牧に関する歴史・文化・地理などの学びを通して、こどもたちの郷土愛を高めようと小牧市教育委員会文化財課と小牧市文化財資料研究会が主催し、小牧市制60周年を機に、平成28年からスタートした「こまき検定」。延べ300名を超える小・中学生がチャレンジしてきました。ちようど10回目となる節目に合わせて、今回、これまでの「こまき検定」で出題された文化財等の中から、特に代表的なものをピックアップし、改めて現地に足を運び、見たり聞き取ったりした内容をもとに書籍としてまとめました。小・中学生からご年配の方々に至るまで、一人でも多くの方に本書をご一読いただき、小牧市の歴史や文化財の今を知り、また、次世代への伝承のきっかけとしていただければ幸いです。書籍のタイトルは『小牧文化財散歩』こまき検定に出題された文化財の今』で、一冊1,200円です。



伝統芸能「講談」の魅力に触れる！

こまき市民文化財団と教育委員会が協力し、こどもたちが文化芸術・アートに直接触れる機会である、アウトリーチ事業を実施しています。令和7年度は、落語、音楽（和楽器）に加え、日本の伝統芸能である講談のアウトリーチ事業を実施しました。普段あまり触れることのない講談のアウトリーチ事業を体験したこどもたちからは、「講談について何も知らなくても楽しめたので、また知らないものと触れ合ってみたい」「自分たちで考えたもので物語ができて面白かった」などの声がありました。先生からは、「こどもたちを巻き込んだ楽しい講談を披露してください、また終始テンションがよく、こどもたちも真剣に楽しむことができました」という感想がありました。令和8年度も引き続き、アウトリーチ事業を実施し、多くのこどもたちが文化芸術に触れ、喜びや楽しみを感じることができるよう努めてまいります。



●通学路の安全対策

登下校中の児童生徒を交通事故から守るため、引き続き通学路標識の設置や、通学路にみどり色のカラー塗装を行うなど、こどもたちが安心して通学できる環境整備に努めていきます。また、「小牧市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者や警察、学校と教育委員会が連携し、通学路における交通安全の確保に向けた取り組みを推進します。



●通学路パトロールボランティアにご理解とご協力を

現在、保護者や地域の方々を始めとする約560名のボランティアに、児童の登下校時刻を中心に通学路のパトロールや児童の見守りをしていただいております。この活動にご協力いただければ、最寄りの小学校へ是非お問合せください。今後とも児童生徒の安全確保にご協力をお願いいたします。



■発行/小牧市教育委員会 〒485-8650 小牧市堀の内三丁目1番地
■編集/教育総務課 TEL:0568-76-1164 FAX:0568-75-8283
Email アドレス:kysoumu@city.komaki.lg.jp